



AHBO

「強さ」で、
日本の道路を
長生きに。



アール株式会社

強い 固なアーボ製品が入った道路

私たちの技術は、東海地方を中心に近畿や中部の強固な道路造りに貢献してきました。



1 国道21号 岐大BP



6 国道156号 岐阜東BP



7 国道41号 高山



2 国道258号 大桑道路



8 国道41号 美濃加茂BP



3 国道1号 名古屋



9 国道19号 伏見通り



4 国道23号 中勢道路



10 国道302号 名古屋環状2号線



5 国道42号 紀伊長島



12 国道155号 豊田南BP



11 国道153号 豊田西BP



13 国道23号 名豊道路



設計支援も できる アーボみ。

設計者、利用者のニーズを汲み取り、未来の道路造りを支援します。

私たちは既製品を作るだけの企業ではありません。長年培ってきた技術を生かして、「このような製品が欲しい」との声に応えられるよう、新製品開発にも積極的に取り組んでいます。

近年の事例ですと、自転車の利用者が増えたため、「自転車走行にも適した側溝」の開発要望がありました。私たちは走行しやすく滑りにくい箱形パイプを開発。スリットの位置にも工夫を加えた製品は、安全性の高さも評価され、中部や近畿で採用されました。このように私たちは、設計者や利用者の目線立って、新製品の開発をサポートしていきます。



① 新製品開発

常にアーボの営業がお客様の声に耳を傾け、毎年必ず2点以上の自社開発製品を送りだしています。
※特許4件取得



② 各種計算

必要な構造計算・流量計算・強度計算・土被り計算などの設計支援ができます。



③ 各種資料作成

大学や高専等と連携した各種試験を実施、資料を作成しています。

設計の お手伝い

新製品開発から施工指導までトータルでお手伝いできるのがアーボの「設計支援業」です。

⑥ 施工指導

ご要望に応じて、現場に立ち会い、施工指導を行います。また、随時工事の進捗状況を把握し対応しています。



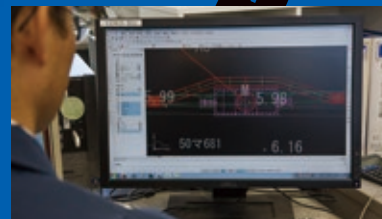
⑤ 特殊品対応

コンクリート技士・主任技士が多数います。現場で望まれる特殊対応の設計・製造ができます。



④ CAD

営業員がCADを使い、設計開発や、施工現場にあった製品図・割付面・取付図等の作成が可能です。



高強度を誇る バイコン製法

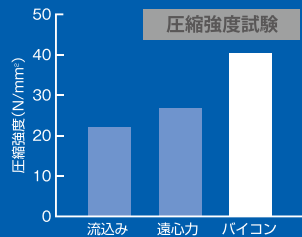


高強度にこだわる私たちが選んだのは、世界基準のバイコン製法です。

バイコン製法は100年を超える歴史を持つ、ヨーロッパではスタンダードな製法です。水セメント比35%以下のコンクリートを、強力な振動 (Vibration) と圧縮 (Compression) を加え即時脱型した製品は、材料分離を起こさない配合によって均一で密実になり、圧縮強度・耐中性化・耐凍害性・耐薬品性などの諸性能が従来製法に比べて大幅に向上しています。

高強度でありながらセメント使用量を抑え、蒸気養生も必要としないため、CO2の排出抑制に大きく貢献しています。

私たちが創業以来こだわってきた「高強度コンクリート製品」は、バイコン製法で飛躍的な進歩を遂げました。製品に求められる『安心して長く使える』という本質をこれからも追及していきます。



バイコンはコンクリート硬化に必要な以上の水を極力減らしているため、流し込みに比べ圧縮強度が高いことが分かります。



強さにこだわるアーボの軌跡

沿革

- 昭和 48年 05月 岐阜県揖斐郡谷汲村大字名礼 459 番地に中日コンクリート (株) を設立。
- 50年 04月 通産大臣より日本工業規格表示許可を受ける。
- 52年 01月 日本下水道協会より認定工場承認を受ける。
- 56年 06月 時代のニーズを捉え、高強度側溝『箱形ヒューム管』製造販売開始。
- 58年 03月 中小企業診断制度 岐阜県知事表彰を受ける。
- 59年 08月 組立式マンホール『プレホール』製造販売開始。
- 60年 03月 中小企業診断制度 中小企業庁長官表彰を受ける。
- 平成 01年 04月 遠心成形擬石『アートン』製造販売開始。
- 02年 02月 商号をアーボ株式会社とし、魅力ある・伸びる会社を目指す。
- 04年 06月 新生産方式「バイコン」製造機械マルチフレックスを導入。
- 05年 06月 R21号 関ヶ原バイパス「バイコン製品」初納品・施工
- 07年 02月 東ノ山トンネル「バイコン箱形パイプ」初納品・施工
- 09年 11月 「バイコン」自動製造機械プリサイズを導入。
- 11年 11月 ISO-9001 の認証 (審査登録) を取得する。
- 12年 07月 「バイコン」の半自動製造機エクセルを導入し、遠心成形を全廃。
- 13年 03月 「台付管」製造開始。
- 13年 12月 「バイコン」箱形パイプに日本工業規格 JIS-A-5372 II 類の認定取得。
- 14年 05月 「バイコン」台付管に JIS 認定取得。
- 15年 07月 自動鉄筋管編成機チューブリン ASMS150 導入。
- 15年 09月 新本社屋完成
- 16年 12月 「バイコン」半管専用製造機械を導入。
- 23年 09月 「バイコン」製造機械マルチフレックスを新工場に導入。
- 27年 10月 第2工場にトップパレット供給・回収システムを導入。
- 27年 11月 「バイコン」半自動製造機ピクトリアを導入。



ISO9001 登録証



JIS 認証書



特許証



東ノ山トンネル「バイコン箱形パイプ」

工場設備

- バイコン成形機マルチフレックス 2 台
- バイコン成形機プリサイズ+トランス・イグザクト 1 台
- バイコン成形機エクセル+マルチクラブ 1 台
- バイコン成形機半管専用機 1 台
- 鉄筋管自動編成機 1 台

生産力に強さを発揮

バイコン製法だからできるスピード供給。

バイコン製法は、振動と圧縮によって締固め成型し、即時脱型する技術です。
 私たちは4つの生産ラインを備え、それぞれ1台の型枠から毎時5~10本、1日50~140本を生産します。
 スピーディーかつ大量に供給が可能なバイコン製法だから、ご希望の納期にお応えできます。



① 鉄筋籠編成

溶接強度の高い鉄筋籠を連続で製造



② コンクリート打設

水セメント比35%以下の超固練りコンクリートを使用



③ 振動と圧縮

強力な振動を加えコンクリートを流動化させ充填し、上部から加圧板で圧縮力を加える



⑥ 養生

蒸気を使わずに、養生室で一晩保温、保湿
 ※CO₂削減効果あり



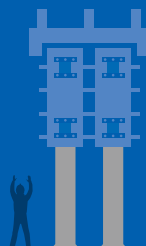
⑤ 運搬

製品が変形しないよう、振動を与えないように運搬



④ 脱型

振動停止後、直ぐに型枠を上引き抜く(即時脱型)



⑦ 検査

規格内であるか専属の検査員が全数検査



⑧ 表示の印刷

検査に合格した製品のみ、表示を印刷



⑨ 養生

揖斐川町という空気の澄んだ環境の中で出荷まで養生



⑩ 出荷

側溝専門メーカーならではの豊富なラインナップ

用途に応じた断面10系統×4バリエーションの中から最適な製品をお選びいただけます。
 更に、周辺部材も充実し、12種類のカーブ材と柵であらゆる道路に対応が出来ます。

片勾配タイプ

A形

C形

E形

ES形

スリムタイプ

J形

JS形

両勾配タイプ

N形

DG形

フラットタイプ

XA形

XC形

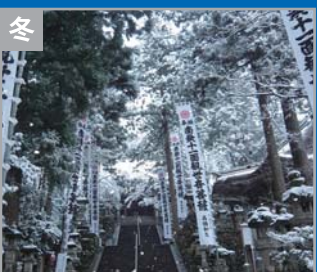
アーボの強い信念

「強い」製品で「インフラ長寿命化」に寄与します。

弊社は1973年の創業以来、中部地区を中心とした道路造りに係わってきました。1992年にデンマークより設備を導入し、バイコン製法を実験的にスタート。当初は試作を繰り返しても、良品ができるのは50本に1本程度で、実用化までは苦難の連続でした。それでもチャレンジを続けたのは、社会資本に携わる以上、安全で耐久性のある製品を開発し、「インフラ長寿命化に寄与したい」との想いがあったからです。現在では

国道や主要幹線道路をはじめ、中部地区や近畿地区の各所で弊社のバイコン製品が採用されています。

アーボ (AHBO) とは、Ambitious、Happiness、Beauty、Originality、それぞれの単語の頭文字を取った造語で、「美と幸福と創造を熱望しよう」という思いを込めました。私たちは安心・信頼していただける製品を提供し、美しい町づくりと生活者の幸せを創造していきます。



谷汲山華厳寺を仰ぐ岐阜県揖斐川町で創業。

標高1,100~1,300m前後の山々がそびえ、その間を縫うように流れる揖斐川。

西国三十三か所の最終札所である谷汲山華厳寺や徳山ダム等々を有する自然豊かな町で、アーボは今までも、これからも、バイコン製品を作り続けていきます。



アーボ株式会社

●本社工場

〒501-1314 岐阜県揖斐郡揖斐川町谷汲名札459番地
TEL : 0585-55-2216 FAX : 0585-55-2218
E-MAIL : tanigumi@ahbo.co.jp

<http://www.ahbo.jp>

